

市民活動講座開催しました！

## 地域力アップのヒント

～あなたの参加で地域の「きずな」が広がります～

平成24年3月24日(土)、羽村市町内会連合会と共催で、市民活動講座を開催しました。

すでに地域活動に携わっている人には活動のスキルアップを、これから地域活動を始めたいと考えている人には参加へのきっかけづくりをお手伝いする講座です。

講師には、先進的な取組みで全国的にも有名な、立川市大山自治会の佐藤会長をお招きし、工夫をこらした日頃の地域活動の様子などについて、大変力のこもった講演をしていただきました。

また、講演の後半は、羽村市からも、独自の取組みに挑戦する2つの町内会から事例発表を行いました。大変参考になることが多かったため、そのお話のポイントをお伝えします。

### 講師：佐藤良子さん プロフィール

- ・1999年～立川市大山自治会会長、大山MSC（ママさんサポートセンター）会長、立川市行政相談委員、東京都老人総合研究所介護予防区市町村サポートセンター介護予防リーダー／シニア、立川・東日本大震災避難者を支援する会会長 など

### 立川市大山自治会の概要

- ・全24棟からなる都営アパート
- ・会員数1,200世帯、約3,200人 ※自治会加入率100%
- ・住民のニーズにあった自治会の再生計画「市・能・工・商」を10年かけて実行し、「人が人にやさしいまち、必要とされる自治会」「ゆりかごから墓場まで」をモットーに、団地住民の相談窓口開設（24時間対応）、「終焉記録ノート」の普及活動、皆でお見送りをする自治会葬の実施や見守りネットワークの充実等を行っています。
- 「私の好きなまちだから、今後も創意工夫した住民のための様々な活動を行っていきたいと思っています！」



### ～助け助けられるコミュニティ～

## 佐藤さんのお話のポイント！

**子どもやお年寄りを支える自治会でありたい**

・住民が自治会活動に理解がある理由は独自の住民相互サポートにある（生活密着型の自治会）。

・一人暮らしのお年寄りを住民が分担して訪ね、健康等を気遣う仕組みがある。

・いつでも気軽に立ち寄れる事務所の存在（団地施設を活用）。

・子どもを預けられる仕組みがある（ママさんサポート）。

### 近所付き合いが基本

・昔は子どもの面倒をみてもらったり、洗濯物を取り込んでもらったり、いろいろな面で近所に支えられて暮らしてきた。

・人のことを自分のことに置き換えて考えられる人たちがいた。そんな世の中になったらいいと思う。

### 住民の相談に親身に対応

・相談用の携帯電話を会長が24時間携帯。

・住民の悩みや困りごとに寄り添う。市役所の手続や葬儀のお手伝いまでこなす。

### 隣接する公園の清掃活動

・夜、公園に集まる若者たちにも積極的に声をかけたら、いっしょにゴミを拾ってくれるようになった。でもまだまだ汚れている。我慢強く続けることが大事。

**自分もいつかは助けられる時が来る、今は助ける側で貢献したい！**

### 新しい会員大歓迎！

・自分から動くことで、それを見た方たちが共感し、協力が強くなっていく。

・人を思いやる気持ちが大事。

・歓迎会を開催して、少しでも自治会を理解してもらうよう話をする機会をつくっていく。

### 住民と外の機関とのパイプ

・行政サービス等、様々な支援制度をいつでも紹介できるように理解し、住民とのパイプ役を担う。

### 自治会の基盤となる考え方

### 「市能工商」

・住民の話し合いを重ね、自治会の基盤となる考え方「平成の「市能工商」を産み出した。